

2019年4月18日

各位

会社名 株式会社 WDI  
 代表者名 代表取締役 清水 謙  
 (JASDAQ・コード 3068)  
 問合せ先 取締役 佐々木 智晴  
 管理本部本部長  
 (TEL.03-3404-3704)

**通期連結業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ**

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2019年2月12日に公表いたしました2019年3月期通期（2018年4月1日～2019年3月31日）の連結業績予想を修正するとともに、2019年3月期通期において、特別損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年3月期 連結業績予想の修正

(1) 通期連結業績予想の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	29,800	1,500	1,400	250	39.49
今回修正予想 (B)	29,783	1,687	1,726	394	62.31
増減額 (B-A)	△16	187	326	144	
増減率 ( % )	△0.1%	12.5%	23.4%	57.8%	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	28,737	1,339	1,234	72	11.42

## (2) 修正の理由

売上高につきましては、前回予想に近似しておりますが、16 百万円減少の 29,783 百万円となる見通しです。

営業利益につきましては、主に食材の原価が想定を下回ったこと及び経費削減策が功を奏したことにより、前回予想に比べ 187 百万円増加の 1,687 百万円となる見通しです。

経常利益につきましては、前述の営業利益の増加に加えて、前回予想時には円高に推移することによる為替差損を想定していたところ、実際には円安にて落ち着いたために為替差益が発生したことによる影響等により、前回予想に比べ 326 百万円増加の 1,726 百万円となる見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前述の経常利益の増加の一方、後述の「2. 特別損失の計上につきまして」の影響等により、前回予想に比べ 144 百万円増加の 394 百万円となる見通しです。

## 2. 特別損失の計上につきまして

店舗の閉店及び「固定資産の減損に係る会計基準」に従って、業績低迷等により当初予定していた収益が見込めないと考えられる店舗等の固定資産につきまして、固定資産除却損 4 百万円、減損損失 310 百万円及び店舗閉鎖損失 77 百万円を計上する見通しです。

以 上